

【境港市】
校務DX計画

令和5年12月27日付5初修教第15号通知「GIGAスクール構想の下での校務DXチェックリスト」に基づいた自己点検結果の報告について（以下「自己点検結果」という。）における自治体別達成状況では、境港市は全国平均363.1点、鳥取県平均402.3点を下回る359.6点であった。このことを踏まえ、以下のとおり校務DXに関する取り組みを推進する。

1. クラウドサービスの一層の活用について

本市においては教職員に個人メールアドレスが付与されており、情報共有や連絡等にクラウドサービスを活用できる環境にある。

自己点検結果によると、職員間での情報共有や研修等では活用が進みつつあるが、保護者との日程調整や問い合わせ等についてクラウドサービスの活用が進んでいない状況である。

このことから、これまでの校内の業務を中心に進められてきたクラウドサービスの活用について、より一層の推進を行うとともに、各学校におけるクラウドサービスの対象が保護者にも広がるよう支援を行っていく。

2. FAX・押印等の制度・慣行の見直しについて

自己点検結果によると、本市においては7割以上の学校でFAXを使用している。また、8割以上の学校でが業務で押印・署名の必要な書類があると回答している。

校務の更なる効率化のためにも、現状を確認し、今後FAXや押印等についての制度・慣行の見直しを行っていく。

3. 次世代の校務支援システムの導入に向けた検討について

校務支援システムについては、鳥取県自治体ICT共同化推進協議会のもと共同調達を行っている。更新については、手入力作業の軽減、導入に関する費用面やネットワーク構成の問題等を考慮し、協議会において検討を進めていく。